

令和元年度 第1回富山支部評議会の概要報告

開催日	令和元年5月20日(月)10:00~12:10
会場	協会けんぽ富山支部 会議室
議題	(1) 平成30年度富山支部取組結果 (2) 令和元年度富山支部取組目標 (3) 支部保険者機能強化予算の検討について (4) その他
出席者	評議員 学識経験者：中村評議員(議長)、泉評議員 事業主代表：廣瀬評議員、若林評議員、藤井評議員 被保険者代表：沢井評議員、河口評議員、川津評議員
報告概要 (主な意見等)	事務局より各議題について資料により説明。主な意見等は下記のとおりです。 議題1. 平成30年度富山支部取組結果 資料1 平成30年度富山支部取組結果(速報値) (学識経験者) 外傷点検効果額の説明において、交通事故等の過失割合決定後に調定登録を行っていたが、決定前に調定登録を行うようになったとあったが、もう少しわかりやすく教えていただきたい。 (事務局) 保険証を使用すると、その3か月後に保険者へレセプトが到着し、点検を行う。外傷の場合、交通事故や業務上のケガでないか照会しており、その結果、交通事故で相手がいるということであれば、第三者行為の傷病届を提出してもらおう。従来だと治療が終わり、ある程度保険会社と過失割合の調整が済んでから調定登録していたが、治療が長引く場合、調整の有無に関わらず3か月毎に調定登録した。 (議長) 前年度の後半からそうした取組をして状況が良くなったということだが、時期的にずれ込んだ故の結果で、今年度からは通常の状態に戻るイメージか。

(事務局)

そのとおり。

(議長)

数値目標が割合のものなどは、指標の定義をわかるように記載していただきたい。

(事業主代表)

診療内容査定率の結果は未達成で非常に悪い状況だが、医療費ベースということは金額の大きいものがあると率が上がる計算になるのか説明してほしい。また、率を上げるためにはどうすれば良いのか。

(事務局)

医師の保険診療内容がルール通りになっているか、支払基金で一次点検を行い、保険者で二次点検を行っている。総医療費の内、削減できた医療費の割合を目標値として設定しているため、減点する額が大きいほど率が高くなる。

査定率の向上には支払基金と保険者の点検方法や、職員のスキルが関わってくる。レセプトの自動点検を駆使し、経年比較や調剤と医科レセプトの組み合わせが適切かどうかなどの観点で点検している。また、支払基金においては、各都道府県でそれぞれ審査の基準が異なっていることが課題とされており、今後本部でシステムを利用した審査の比率を上げるなどの改革が予定されている。

(議長)

分母が医療費であるため、率だと小さい数字だが、金額だと大きな額になると思う。それも示してはどうか。

議題 2. 令和元年度富山支部取組目標

資料 2 令和元年度富山支部取組目標

参考資料 1 平成 31 年度全国健康保険協会富山支部事業計画

(学識経験者)

令和元年度の柔道整復施術療養費の数値目標において、平成 30 年度実績の値が資料 1 の取組結果の速報値と 1 か月ずれているのは何故か。

(事務局)

当初支払月ベースで記載していたが、本部の集計では受付月ベースとしているため、今年度より表示を統一したことによる。

(事業主代表)

平成 30 年度取組結果と令和元年度取組目標の項目が異なるのは何故か。

(事務局)

今年度より KPI が変わったため。また、前年度は支部の業績評価の指標も入れていたが、KPI を達成するための手段としての指標も含まれていたため、最終的な目標値でより重要な指標である KPI に整理した。

(事業主代表)

診療内容査定率は、前年度未達成にも関わらず、目標値を前年度の実績値に設定しているのは何故か。

(事務局)

KPI は本部から示されるが、支部間で差がある指標については全国一律の目標値ではなく、前年度の支部実績以上という設定の仕方をしているため。

(事業主代表)

前年度以上となっているので、全く前年度と同じというのは目標としてどうかと思う。

(議長)

KPI は最近導入された考え方で、設定の基準やあり方については、まだまだこれからだと思う。精一杯努力すれば達成できる目標を立て、それを KPI に設定するのが一番良い。その目標値を計りかねていると思われるので、今後継続していく中で変わってくると思う。前年度の実績を超えるため、支部内では前年度にプラスアルファした目標を立てて管理していただきたい。

(事業主代表)

都道府県別の保険料率を設定している中で、全国一律の KPI はおかしいという感じもする。ジェネリック医薬品使用割合やオンライン資格確認システム利用率は目標を達成しているが、低い全国目標値を設定していると、何もしないともとれる。

(事務局)

わかりやすく管理もしやすい指標として KPI を設定しているが、その他に支部業績評価指標も設定している。

(議長)

KPI は最低限達成する目標だが、最終的には保険料率のインセンティブに関わってくるので、そこも見据えて KPI を上回った指標はできるだけ高めていただきたい。

今年度は、高額薬剤、ジェネリック医薬品など、事業運営の上で特殊事情はあるのか。

(事務局)

高額薬剤については現在国レベルで議論されており、今後とも注視したい。ジェネリック医薬品の使用割合については、富山支部は調剤薬局における使用率が高く全国でも上位だが、今年度から院内処方等も含めることになる。主に先発薬を使用している病院もあるため、訪問等によりデータを示して改善の依頼をしている。

議題3. 支部保険者機能強化予算の検討について

資料3 支部保険者機能強化予算の検討について

(議長)

新聞広告などで、富山の健康課題と併せて協会けんぽの取組についても周知しては。

(事務局)

広告だけでは費用がかかるため、ニュースリリースも駆使して広報したい。ターゲットに確実に情報を届けていくことが必要と考えている。

(事業主代表)

協会けんぽだけでなく、国保や健保組合も含めて県民にアピールする取組が良いのでは。運動不足を解消するための体操教室の案内など、意欲のある人の背中を押すようなものがあれば良いと思う。生命保険会社から健康企業宣言やセミナーの案内が来るので、コラボできればうまくいくのでは。県のウォーキングアプリを利用して景品をもらったことがあるので、医療にかかる前の段階での取組が将来的に良いと思う。

(被保険者代表)

富山の特徴等の情報は、医療費通知に同封するなど、加入者一人ひとりに届くような形にしては。同時期に事業所ごとのデータを各事業所に提供し、社員の特徴と併せて見られる形にしてはどうか。全体的な特徴を示されても、個人の行動には結びつかないと思うので、小さい単位で行う方が効果的だと思う。

(事業主代表)

電子媒体を利用する方が良いのでは。健診の際にメールアドレスを登録していただき、そこに対して情報発信をする。電子メールでやりとりができれば、1対1の対応がしやすい。電子媒体を積極的に使用した方が費用も安いかもしれないので、ぜひ検討しては。

(被保険者代表)

富山支部にどれだけの予算があるかわからないが、富山の課題と目標を設定して、どういうCMをしたいということがないと議論しにくい。定期的な新聞広告・CMや電子媒体を使うのにどれだけの予算が必要ということが見えればもう少し具体的な議論がしやすい。

(被保険者代表)

健康企業宣言の認定を受けていてもあまりメリットを感じられないため、宣言事業所で成績の良い企業や業態に対し、何らかの補助があると良い。

(学識経験者)

不特定多数にアプローチするより、事業所を対象とした方が良いのでは。宣言事業所に所属している加入者に対し、金銭でなくても直接のメリットがあればいいと思う。

(事業主代表)

保健センター等に設置されているチラシは似たようなものが多く、どれも持ち帰る人がいないようなので、目立つような工夫が必要だと思う。

議題4. その他

参考資料2 全国健康保険協会の業績に関する評価結果について

参考資料3 第5回中部ブロック評議会資料

質疑なし。

以上

特記事項

・傍聴者なし。

次回 令和元年7月に開催予定